

伊賀に暮らして

伊賀市 ミュージアム あおやまうたのいえ 青山讃頌舎
2021年夏の通常展図録

伊賀に暮らして—あきづきあきら穂月明の身近な風景

1981年52歳の時、京都で活動していた穂月明は現伊賀市 ミュージアム青山讃頌舎のある伊賀市別府に画室を移し、
此処で暮らし始めました。自然豊かで静かな制作環境を求めてのことでした。

伊賀に移ってからの活躍は目覚ましく日本で有数の人気作家になって行きます。この地から日本各地をめぐり四国八十八ヶ所や西国三十三ヶ所、富士山や、大山などさまざまな作品を残しましたが、やはり多いのは近郊の風景や日常の情景です。今回はその中でも何処をスケッチしたか特定できた作品を中心に画家の視線を追ってみました。

穂月明はいつも「此処はほんとに美しい」と言っていました。
画家が観た美しい伊賀をお楽しみください。

2021年5月21日
一般財団法人 東洋文化資料館青山讃頌舎
理事長 穂月大介



流水頌歌

川の源流から、人々の生活する村・街を経て河口までたどって見ると、人間と自然や生き物との交流の虚偽や眞実や祈りが隠す所無く見えて来ます。
 “逝く者は斯くの如きか、夫れ昼夜を捨てず”と古人も申された様に流水も人の一生も全て大海原へと流れ去ります。或る時は無上のやさしさと安らぎと悠々たる大らかな楽しさを、又或る時はきびしさと無常を感じさせ乍ら、それも皆大海原で雲となり風に運ばれ雨となり川となり流れて逝きます。この生き方こそ自然さでこの調和に逆らえば不自然で、人自身へと返つて来る。この眞実の法に帰依し称へる頌歌を墨と筆に託しました。

穂月明

あきづきあきら
 穂月明は最後の個展「流水頌歌」で自然のめぐみも厳しさとも調和して生きる生き方を仏の法ととらえ、それを「神が御座し、仏が導く世界」と書いている。
 ここ伊賀にそんな理想を観ていたようだ。

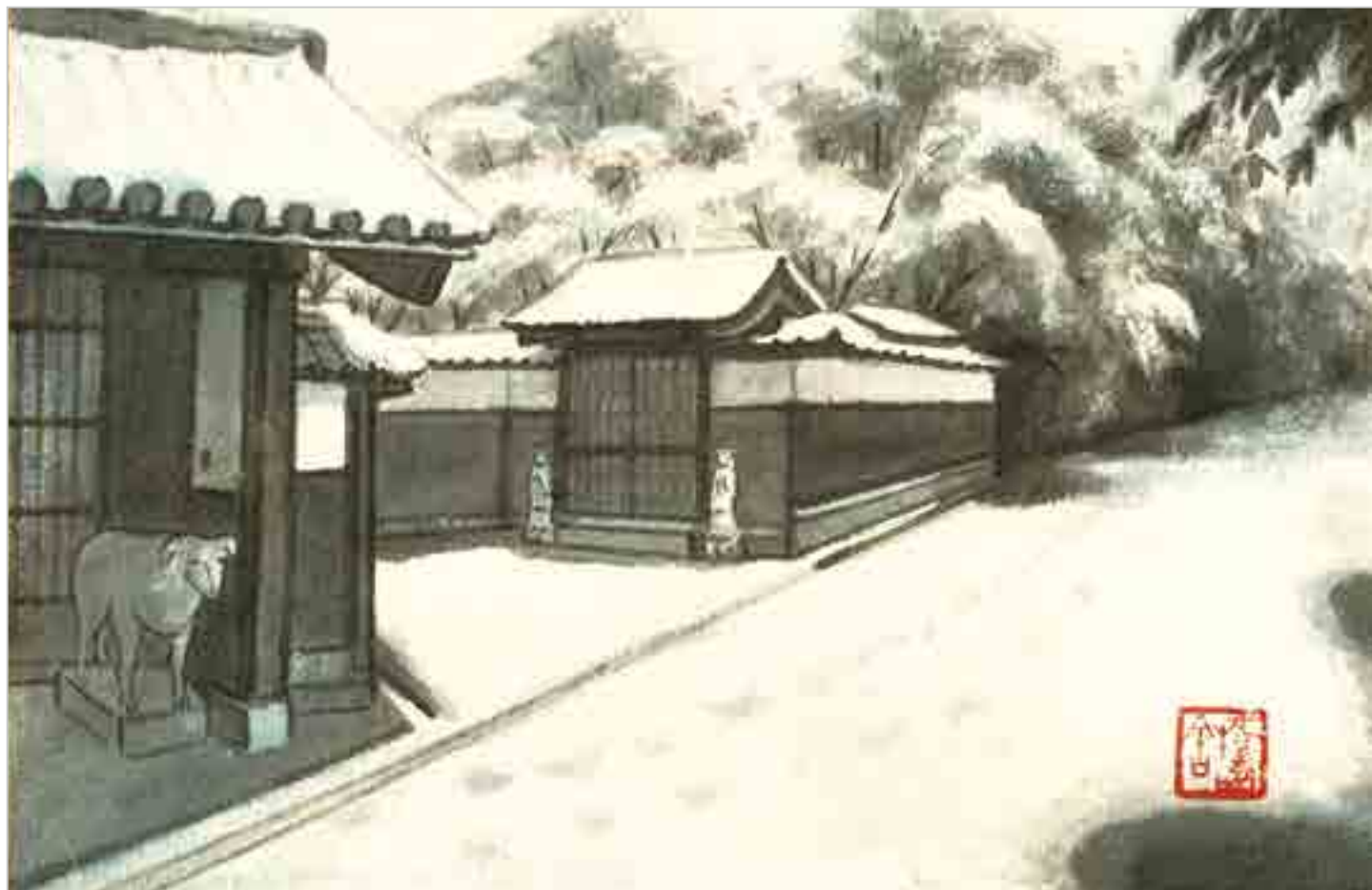


穠月 明「大悲地藏菩薩」
年代不詳 墨絵彩色・紙本

神が^おわ^わ御座し、仏が導く



穠月 明「神宮流水」
70代 墨絵淡彩・紙本
伊勢神宮宇治橋



穂月 明「家の記録／雪の日の門前」
70代 墨絵淡彩・紙本

自宅前

現在のミュージアム青山讃頌舎入口

絵にはまだミュージアムは無い



あ
お
や
ま
う
た
の
い
え

青山讃頌舎

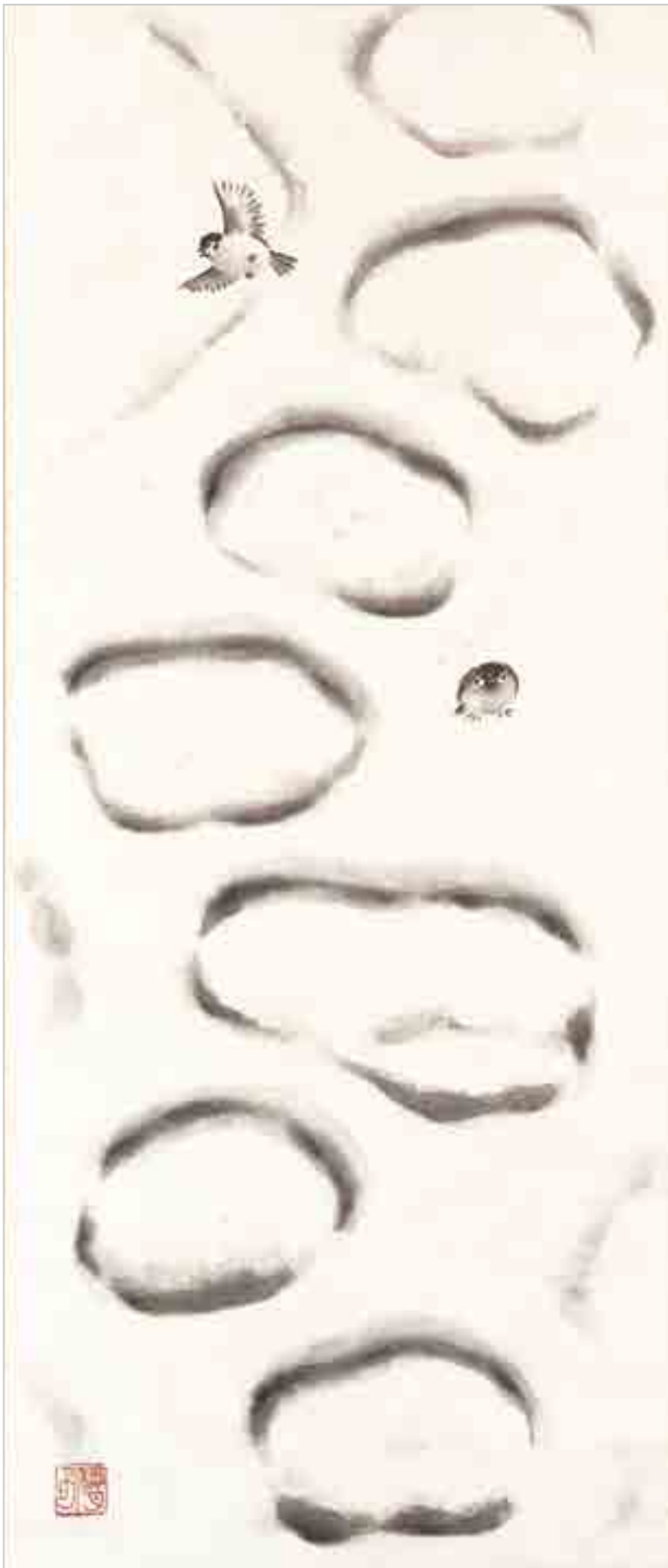




穂月 明「板塀の仔猫」
年代不詳 墨絵淡彩・紙本

茶室の塀から顔を出す愛猫





画室の窓から見た雪の庭石



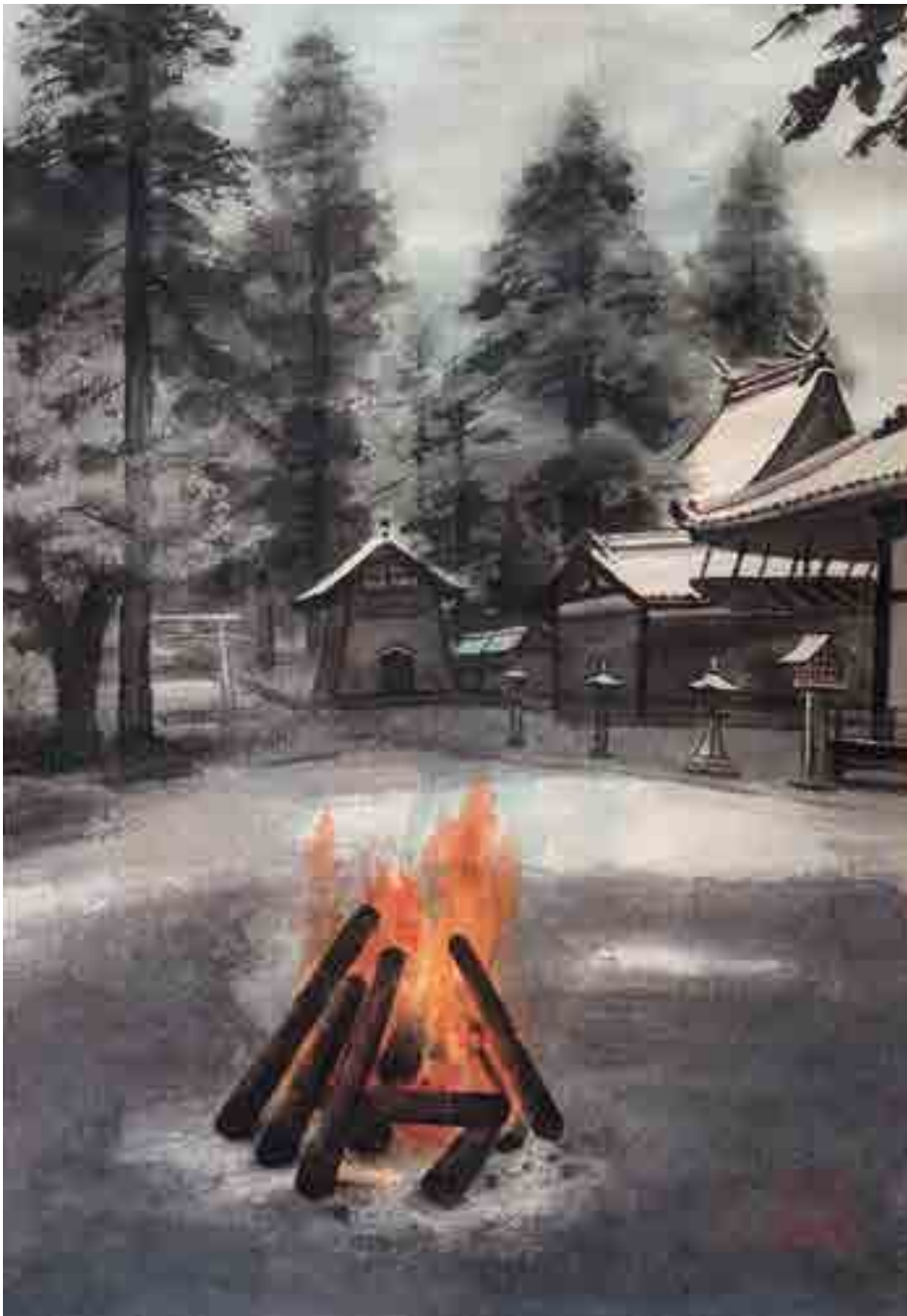
穂月 明「雪の庭」
年代不詳 墨絵・紙本

自宅から見上げた裏山の冬枯



穂月 明「月光」

年代不詳 墨絵淡彩・紙本



穂月 明「神事の日」
年代不詳 墨絵淡彩・紙本



大村神社



大村神社境内より観た薄雪の鐘堂



大村神社 白蛇の御神木
幹はまだ折れていない



穂月 明「神木」
年代不詳 墨絵淡彩・紙本



穂月 明「太神楽図」
年代不詳 墨絵淡彩・紙本



阿^あ

保^お



獅子舞

阿保にも残る古い形の獅子舞
をモデルにしているようだ





穂月 明「雪原の流れ」
年代不詳 墨絵淡彩・紙本

阿保の木津川

阿保を流れる木津川のどこにでもみられる冬枯れ





穂月 明「流水雪景」
70代 墨絵淡彩・紙本

阿保橋より観た阿保宿





穂月 明「村里の流れ」
70代 墨絵淡彩・紙本

国道 165 号より観た柏尾の集落

今は川の土手に桜が植樹されている





穂月 明「雪の川」
70代 墨絵淡彩・紙本

阿保宿の外れ、川上川に架かる橋





穂月 明「追想の夜汽車」
年代不詳 墨絵淡彩・紙本



寺脇 宝厳寺前の近鉄高架

作品は故郷四国の西条へ帰る列車を描いているのが、宝厳寺前の近鉄高架をモデルにしたのかも知れない



種月 明「青山流水」
70代 墨絵淡彩・紙本

種月 明「青山流水」
70代 墨絵淡彩・紙本



伊
賀



川上集落

画家が通った山村にはダムが建設される



こうづ ひびき
上津比々岐神社 鎮守の杜



穉月 明「参道」
年代不詳 墨絵・紙本





穂月 明「常福寺の紅梅」
53 歳 墨絵淡彩・紙本

かんべ
神戸 常福寺の梅





穂月 明「日華川上動風光草際浮」
70代 墨絵淡彩・紙本



神戸 常福寺前の木津川

“ 日の美しい色が川面にゆれ
草は風に光り浮きただよう ”



穂月 明「流水」
70代 墨絵淡彩・紙本

神戸 木津川の沈下橋





穂月 明「城跡の見える川」
70代 墨絵淡彩・紙本

木津川 大野木橋付近より見た伊賀上野城



中之瀬の磨崖仏



穂月 明「磨崖仏・阿弥陀三尊」
年代不詳 墨絵淡彩・紙本



大山田 ^{みどろ} 真泥池



穉月 明「春秋池景」
年代不詳 墨絵淡彩・紙本





穂月 明「星夜渡橋」
52 歳 墨絵・紙本



名張



大屋戸 名張川の沈下橋



赤目四十八滝 布曳滝



穂月 明「瀧」
年代不詳 墨絵淡彩・紙本





穉月 明「流水磨崖仏」
年代不詳 墨絵淡彩・紙本

大野寺 弥勒磨崖仏



宇陀





穂月 明「雪の御堂」
50代 墨絵・紙本

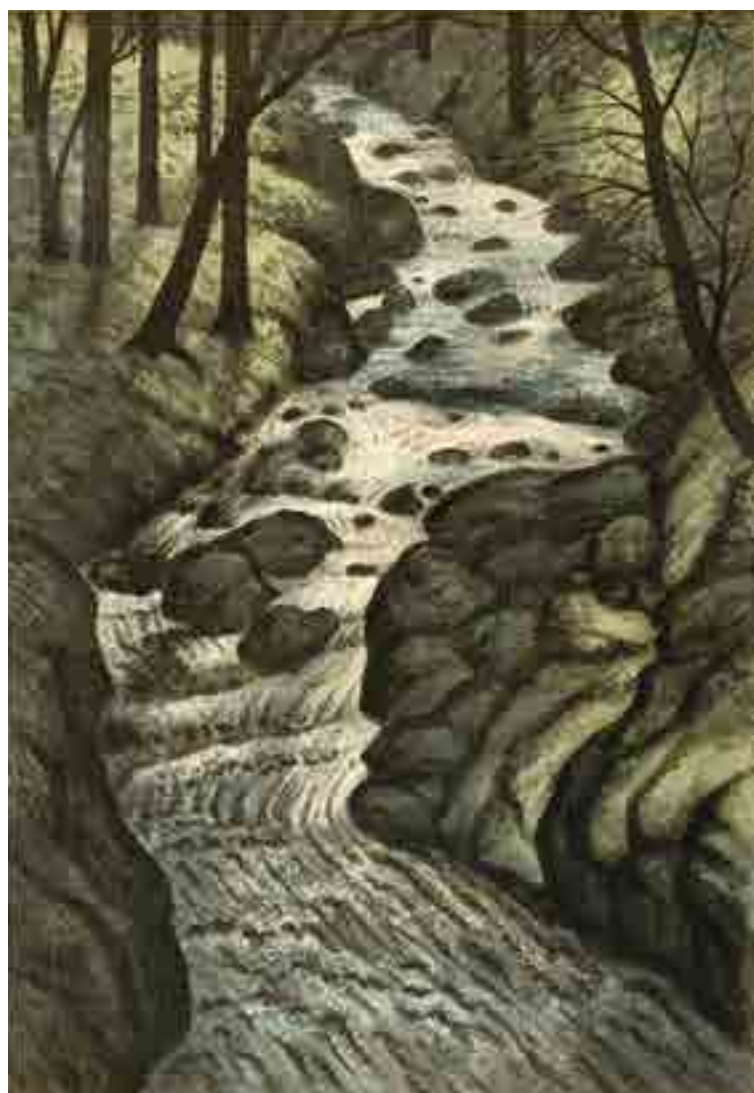
室生寺 弥勒堂





穂月 明「奔流」
70代 墨絵淡彩・紙本

伊賀の山や里には
美しい川が流れ



穂月 明「林間流水」
70代 墨絵淡彩・紙本

水のほとりには野仏が祀られている



穂月 明「星天野の仏」
64歳 墨絵淡彩・紙本



穂月 明「初冬流水」
70代 墨絵淡彩・紙本

晩秋になれば
野焼きの煙があがり



穂月 明「雨中村落」
年代不詳 墨絵淡彩・紙本



穂月 明「虹のたつ村落」
70代 墨絵淡彩・紙本

雨が上がれば
村に虹が立つ

掲載作品の取材推定地



謝 辞

ご指導ご協力してくださいました皆様、作品の取材場所の情報を寄せてくださいました多くの方々に心より感謝申し上げます。

穂月明作品所蔵リスト

大村神社所蔵／「神事の日」、伊賀市所蔵／「常福寺の紅梅」「流水」
 (一財) 東洋文化資料館青山讃頌舎所蔵／「流水頌歌挨拶」「大悲地藏菩薩」「神宮流水」「雪の日の門前」「板塀の仔猫」「雪の庭」「月光」「神木」「太神楽図」「雪原の流れ」「流水雪景」「村里の流れ」「雪の川」「追想の夜汽車」「青山流水」「参道」「日華川上動風光草際浮」「城跡の見える川」「磨崖仏・阿弥陀三尊」「春秋池景」「星夜渡橋」「瀧」「流水磨崖仏」「雪の御堂」「奔流」「林間流水」「星天野の仏」「初冬流水」「雨中村落」「虹のたつ村落」

伊賀市 ミュージアム 青山讃頌舎 2021年夏の通常展 伊賀に暮らして - 穂月明の身近な風景 図録

発行日 令和3年5月21日
 編集 一般財団法人 東洋文化資料館 青山讃頌舎
 撮影 穂月 大介 (一般財団法人 東洋文化資料館 青山讃頌舎)
 発行 公益財団法人 伊賀市文化都市協会
 〒518-0809
 三重県伊賀市西明寺3240番地の2
 ☎0595 22 0511
 印刷 上野印刷(株)



伊賀市ミュージアム
あがやまの歴史
青山讃頌舎